

協議事項

- 一、大會決議事項執行に關して
- 二、十萬突破運動に關して
- 三、理事割當の件
- 四、各専門部長決定
- 五、富士紡減給復活闘争に關して
- 六、關東同盟大會に關して

執行委員會

昭和六年十二月十五日午後七時 於本部事務所  
報告事項

- 一、八王子支部加工分會團體協約締結に關して

役員人事

- 組合長 松岡 駒吉 總同盟主事 關東同盟會長
- 副組合長 大越 半忠 南葛支部聯副會長
- 主 事 富田 繁藏 關東同盟執行委員
- 會計 福岡 金次郎 會計

組 織 部

(十萬突破運動)

一、十萬突破運動は我等に負はされし重大なる任務である。組織部員會は、吾が紡織労働組合の一萬突破運動と總同盟十萬突破とを結び付け、計画的に且つ強力に運動すべく具體的方針を決定した。

- 1 組織工場内に於ける未加入者の獲得
  - 2 未組織工場の組織化
  - 3 同一資本系統の關係工場の組織化
  - 4 附近工場への積極的運動
- 委員長 富田 繁藏  
大越半忠、山下鶴松、大熊新吾、出口小一郎、岡本初太郎、古畑豊次、村上正雄、松本春治、赤松常子

同(神奈川) 齊藤勇、荒木三男三郎、仲文利通、魚釣淺一、同(靜岡) 山田重太郎、樋口藤吉、市川菊太郎、田代新一、關東紛争議は長期間吾が組合の一切を動員せし爲め、紡織一萬突破運動も一時中止状態になつた。組織運動に有利な場合も手不足の儘期待せる効果を擧げ得なかつた。獨り沼津支部を主體とする静岡委員會のみ斷へず、組織擴大に馬力をかけた結果、三ヶ工場に相當の組合員を獲得し静岡地方の進出に一大拍車をかけ十萬突破運動を有

- 二、労働青年同盟結成に關して
- 三、各支部情勢

協議事項

- 一、十萬突破運動に關して

執行委員會

昭和七年九月四日午後二時 於本部一號室  
協議事項

- 一、紡織労働大會開催に關して
- 二、關東同盟大會に關して
- 三、總同盟全國大會に關して

執行委員

- 池 善次 中央合同主事
- 熊本 虎藏 革工主事
- 同 齊 藤 勇 神奈川聯執行委員
- 同 山下 鶴松 鐵工執行委員
- 同 赤松 常子 關東同盟婦人部長

部 長 山 下 鶴 松

利に導きつゝあるのみである。

一、關東紛争議の結果は、平塚支部は約四割の組合員を失ひ其の他の支部に於ても、歸國、整理、其の他の事情に依て全體として昨年より、五六二名を失つた。

一、八王子支部加工分會は、八王子支部の下に統一解消し新たに工場關係から第一、第二分會を創立した。

一、名古屋支部は愛知縣聯合會の擴大發展と小泉七造氏を信頼して愛知縣聯合會所屬とした。

一、故に現在在は十一支部(十二分會)支部準備會三にして組合員は男一、三三三名、女二、七三二名計四、〇九五名である。

地方別組織 東京六 神奈川三 静岡二  
製品別 綿紡二 モス 三 絹紡二 染色加工三  
麻糸一

工場會社別 會社八 工場二十六

然して、支部組織の會社及工場の従業員總数は一三、五〇〇名である故に組合員は其の三三%に過ぎない。

一、我等は、自分自身の足下に廣大なる戦ふ可き原野を見らる。それは寧ろ我等の恥辱である。十萬突破運動は先づ